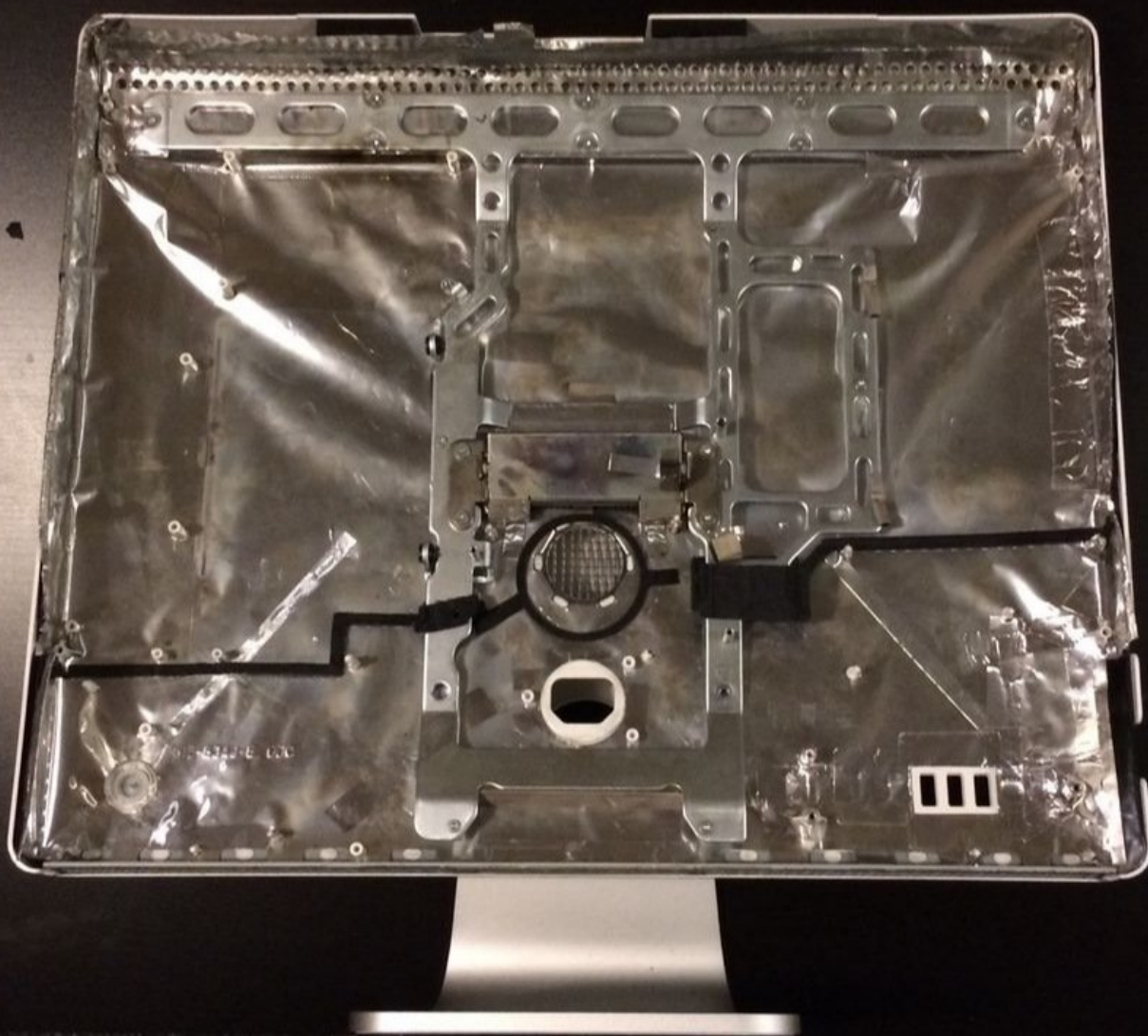




iMac Intelを外付けモニターにする方法

2006年製のIntel iMacが壊れたため、ゴミに捨てるのではなく、外付けモニターにしました。

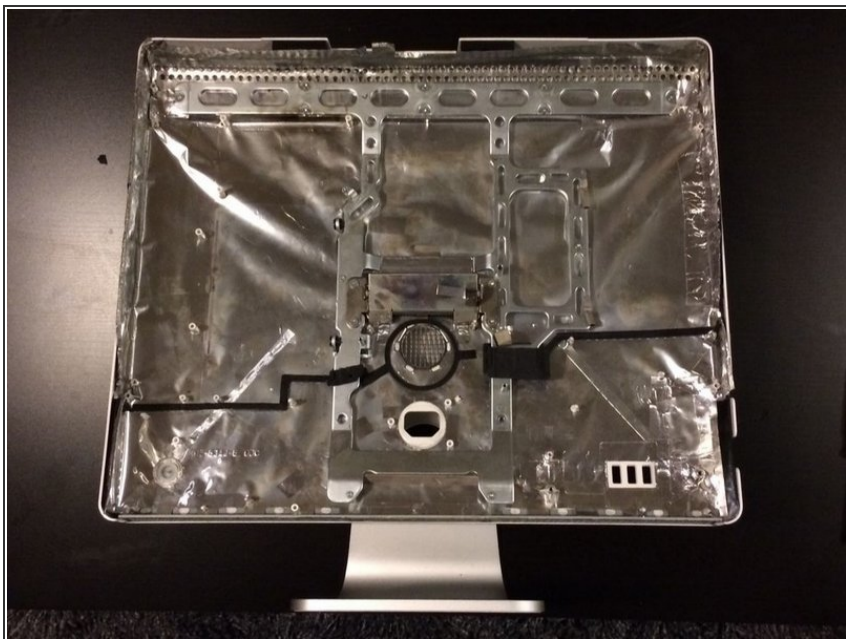
作成者: Michael



はじめに

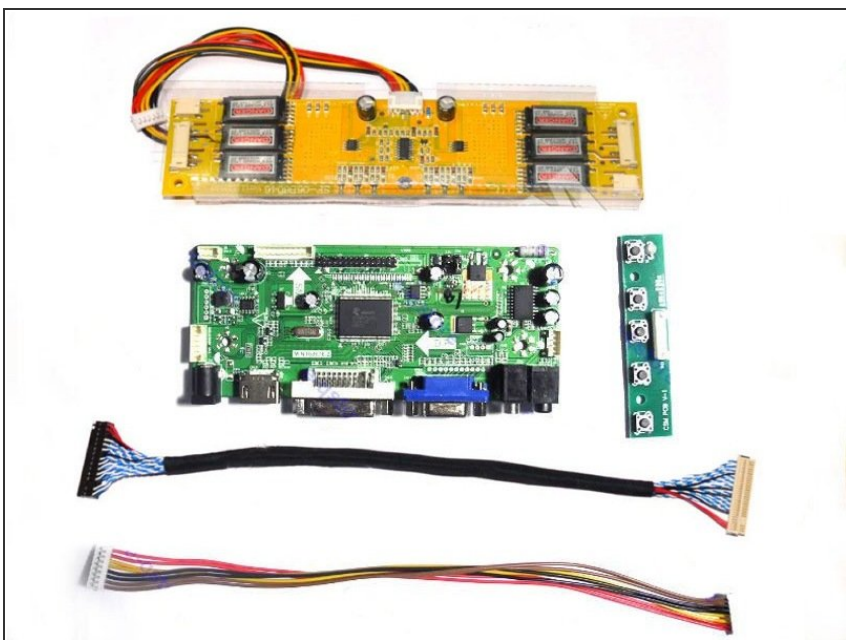
2006年製のintel iMacが壊れた（ロジックボード、グラフィックカードの不良）ので、ゴミに捨てる代わりに、画面のない2009年製のMacBook Pro（LCDドライバの故障、バッテリーの故障）の外部モニターとして、また好きなHDMIデバイスとして使えるようにすることを目指しました。G5 iMacでこの方法を見たことがありましたが、異なるディスプレイタイプを使用するIntel iMacでは見たことがなかったので、やってみることにしました。

手順 1 — iMacを開きます



- iMacを完全に分解し、液晶スクリーンは片面を上に向けて安全に保管します。また、破れたEMIシールドを補修し、この上にある電源と通気口を除くすべての穴をシールドしました。(USBハブを取り付けるために3xのUSBポートも確保していましたが、これはあまり効果がなかったため、結局取り外しました)。

手順 2 — 液晶ディスプレイのドライバボードを確認します

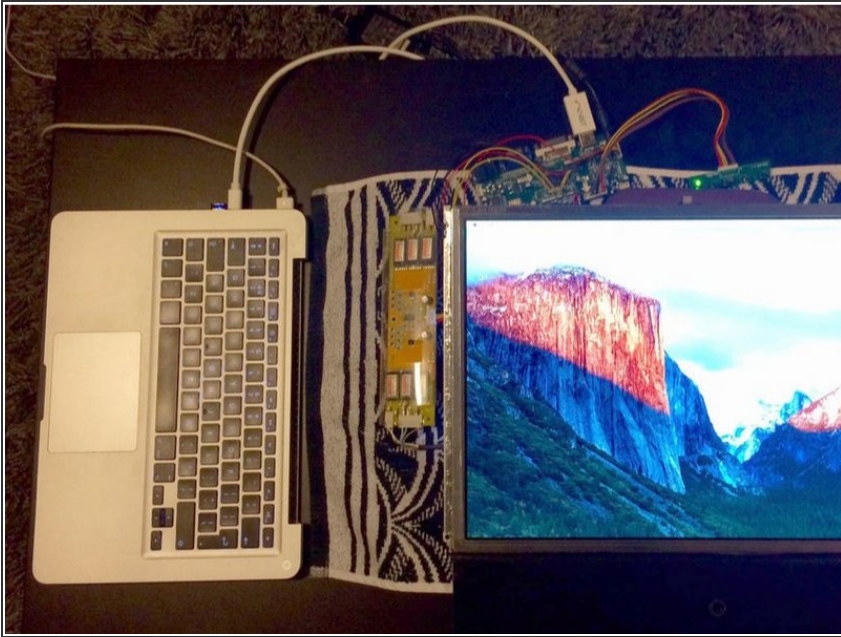


- 次に、私のスクリーンはSamsung LTM201M1-L01で、このeBayでモデル番号を探した後、このスクリーン用ディスプレイドライバを見つけることができました - スクリーンのモデル番号で検索すると出てきます。

- 私のLCDドライバボードにはVGA、DVI、HDMIがあり、12V 4Aの外部電源で駆動しています。eBayの出

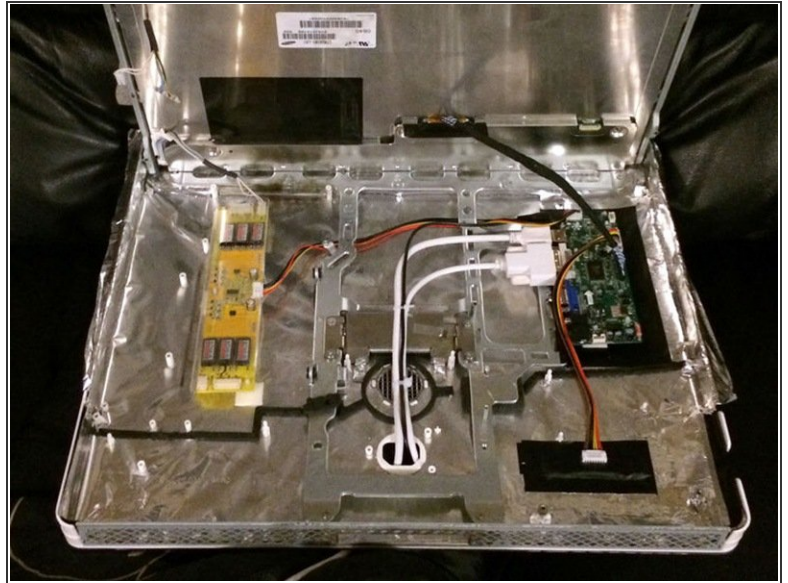
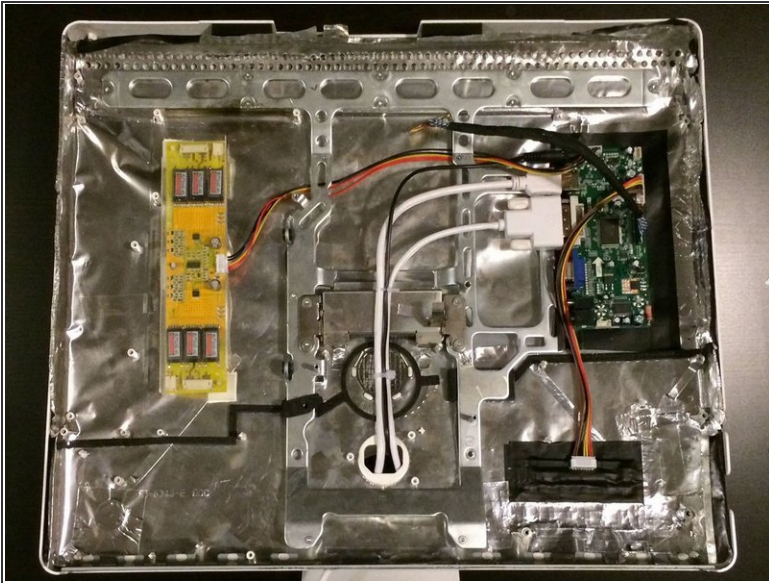
品者は電源も販売していましたが、私は別のLCDスクリーンで使用したものが残っていました。

手順 3 — テストドライバボード



- 私は購入したMini Display port to HDMIケーブルに問題があったので、これを返品し、代わりに1M Mini Display port to DVIケーブルを購入しましたが、これは問題なく動作しました。
- また、他のすべての入力ケーブルとして1Mの白いHDMIケーブルと、ケースの外からPSUを接続したり取り外したりするための0.5Mの2.1mm DCバレル延長ケーブルも購入しました。

手順 4 — アセンブル part2



- iMacの内部にある様々なマウントポストは最適ではなかったので、ドライバボード、インバータ、コントローラボードを取り付けるためのPCB自己粘着性マウントポスト (9.5mm) を購入しました。
- iMacの筐体内部に取り付ける前に、EMIシールドを四角く切り取って、マウントポストを正しく取り付けるようにしました。また、背面からボタンにアクセスできるように、電源/調整ボード用の穴も開けました。
- ここからは基板をPCBのポストに取り付け、各種ケーブルを接続し、元電源の切り欠きを通して通電するだけでした。LCDドライバ基板は基板がむき出しなので、その下も絶縁しました。インバーターは透明なプラスチックケースに収められていました。
- LVDSケーブルと下部のインバータケーブルは、元の設定と同様に、スクリーンを設置した状態でないと取り付けられられません。

手順 5 — 完成



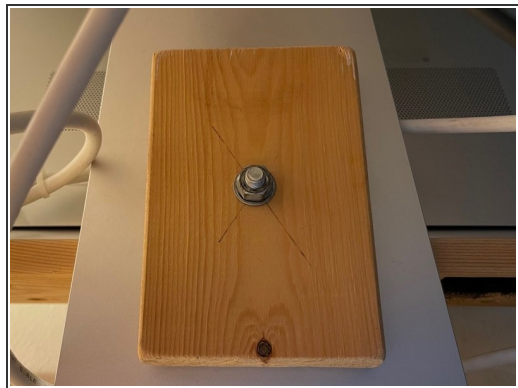
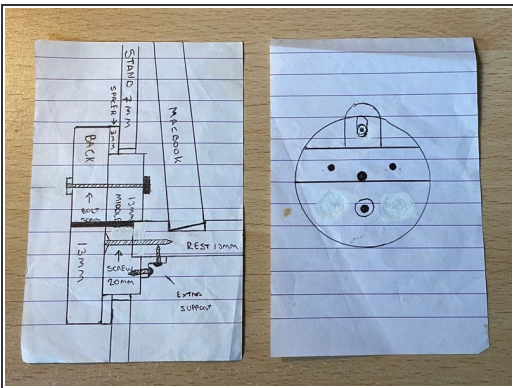
- その後、iMacを組み立て直し、スクリーンを貼り付け、EMIテープを補修してからフロントを装着しました。これで、スクリーンなしのMacBook ProのMini DisplayPort出力と完全に連動し、他のデバイスを接続するためのHDMIケーブルも利用できるようになりました。
- 唯一変更できなかったのはCCFLの輝度ですが、環境設定ペインのShadesを使うことでできるようになります。

手順 6 — ボーナスステージ -MacBookのリアマウント



- また、キーボードとMagic Mouseを別に用意したので、Macbookを背面にマウントすることにしました。AluRackと同じようなスタイルのマウントを木材で作り、iMacスタンドのケーブルホールに取り付けました。

手順 7 — マウントの詳細情報



- MacBookマウントの詳細画像を追加しました。お役に立てれば嬉しいです！

デバイスを再組み立てするには、以下の手順を逆にたどってください。